

ボラマガ

～ボランティアセンターマガジン～

平成28年8月15日号

第31号

発行 社会福祉 神栖市社会福祉協議会 ボランティアセンター
法人

〒314-0121 神栖市溝口1746番地1

TEL : 0299-93-1029 FAX : 0299-92-8750

ホームページ <http://www.kamisushakyo.com/vc/>

※ホームページでは、この広報紙に掲載している写真をカラーでご覧になれます

メールアドレス mail@kamisushakyo.com



神栖市内で活動するボランティア
さくまかい
民謡サークル 佐久間会

7月28日(金)、民謡サークル佐久間会が、はさき福祉センター(神栖市土合本町)の一室で開催されている高齢者の集いの場“こいこいはさき”に出演しました。

耳覚えのある「ヤ～レン ソ～ラン」と歌い出す、北海道民謡「ソーラン節」が三味線、尺八の伴奏で始まりました。「ソーラン節は、かつて北海道で大いに賑わった、ニシン漁で網を引く時に唄った曲です。」と、代表の野中さんが唄の背景を説明します。

佐久間会は現在、会員12名。月1回のペースで高齢者施設やわくわくサロンなどを訪問し、民謡を披露することで「元気」や「心の健康」を届けるボランティア活動をしています。

民謡は、人から人へ、その地域で世代を超えて歌い継がれてきた伝統芸能です。労働に合わせて唄う仕事唄、祝福の気持ちを唄う祝唄やお酒の席を賑やかにする酒盛唄など、その土地に根付いた生活の場面から生まれました。野中さんは「これからも大切に唄い、後世に伝えていきたいですね。施設への訪問は、



「楽しかった 良かったよ！」
と笑顔が笑顔を呼びます

多くの人に民謡に触れてもらう良い機会です。皆さんに『良かった』と声をかけてもらうことで、民謡が持つ魅力を確認することにもなります。」と、活動への思いを語ります。会場に頭巾をかぶって大黒天に扮した女性が現れました。豊作を祝った「山形大黒舞」が始まり、大黒様が舞います。「めでたい！」と、拍手と歓声がわき上がりました。最後は、「大漁節」「斉太郎節」を会場にいた一同が唄い踊り、会場が一体感につつまれ、楽しい時間の幕が閉じられました。

裏面に続く

毎月の練習会は欠かさず、今年で20年目を迎えました

佐久間会は、平成9年に始まった民謡教室を母体としています。平成21年4月に市内の高齢者施設での上演からボランティア活動が始まりました。現在は、はさき生涯学習センターで、毎月第3木曜日に稽古をしています。

「体が動かなくなっても、声が出るうちは続けていきたいですね。」とメンバーのひとりが語りました。

佐久間会は、一緒に活動する会員を募集しています。「興味がある方、ぜひ見学に来て下さい。老若男女問わず、初心者も大歓迎。一緒に民謡の魅力に触れましょう」とのことでした。



毎回の練習時間は、2時間ほどです。グループで曲を学ぶ時間、個人で好きな曲を重点的に練習する時間があります。

民謡サークル佐久間会への問い合わせは下記までご連絡下さい。

神栖市社協ボランティアセンター 波崎支所 電話:0479-48-0294(担当:横田)

輝くための「男」の講座を開催します

自宅やお庭の手入れ、料理など、セカンドライフがもっと“輝く”全4回の講座です。仕事に区切りがつく方の多い60代、これまで気になっても取り組むことができなかったことを、新たな仲間と楽しんでみませんか？ぜひ、ご参加下さい。



開催日時・内容

1日目 10月12日(水) 9:00~12:00 網戸の張り替えにチャレンジ 網戸を張り替えることで、家はグツと美しくよみがえります。ホームセンター等で揃えた材料で網戸をきれいに張り替える方法を学びます。 講師:シルバー人材センター会員 持ち物:網戸2枚(自宅にある物)	2日目 10月19日(水) 9:00~12:00 庭木のせん定を学ぼう なかなか本格的に始められなかった庭木のお手入れ。お庭をさわやかに保つためのせん定のコツを学びます。 ※雨天の場合は、10月20日(木)に延期します。 講師:シルバー人材センター会員 持ち物:軍手、刈込ばさみ、せん定ばさみ	3日目 10月26日(水) 9:00~15:00 プロに学ぶそば打ち 特に男性の趣味として人気があるそば打ち。プロのそば職人が、基本から指導します。お手製のそばをご家族、友人に振る舞ってみませんか？ 講師:二八そば越後店主 水島義治氏 持ち物:エプロン、三角巾
4日目 11月12日(土)10:00~13:00 <交流会>災害時にも役立つアウトドア料理！ (段ボールを使ったピザ焼き、アルミ缶を使った炊飯) <small>かま</small> 窯やオーブン、炊飯器などを使わずに、身の回りにあるものを活用して調理をします。アウトドアで楽しむとともに、災害時にも役に立つ調理法です。野外での調理を通じ、男性が中心となって活動している2つのボランティアグループと交流します。 講師:ボーイスカウト神栖第1団 持ち物:軍手		



- 会場：1日目 神栖市シルバー人材センター ワークプラザ（神栖市溝口4991-5）
2日目 神栖市はさき福祉センター 中庭（神栖市土合本町3-9809-158）
3日目 神栖市保健・福祉会館 栄養実習室（神栖市溝口1746-1）
4日目 神之池バーベキュー広場（神栖市溝口4991 神之池緑地内）

■定員：20名（先着順）

■対象者：60歳以上の男性（全4日参加できる方）

■参加費：1,000円

【申込・問合先】ボランティアセンター

■神栖本所 0299-93-1029（担当：下田）

■波崎支所 0479-48-0294（担当：横田）

新シリーズ 私たちの！わくわくサロン自慢

サロン活動は、家に閉じこもりがちな地域の高齢者や障害者、子育て中の親子などが身近な場所に集まって気軽に楽しい時間を過ごす活動です。

今回から始まるシリーズは、神栖市内に点在するわくわくサロンの近況や、それぞれの特色や工夫について、そこに集う皆さんに語っていただきます。第1回は、わくわくサロン知手浜におじゃましました。

わくわくサロン知手浜は、毎回ボランティアが手料理を振る舞います。愛情がいっぱい入った温かいおみそ汁や季節の果物がたっぷり入ったフルーツヨーグルト、煮物などを作り参加者をおもてなしします。

以前は月1回の開催でしたが「もっと集まる機会を増やして欲しい!」と参加者からの熱いラブコールを受け、4月から月2回開催となり、「さらに倍!」の楽しいひとときを過ごしています。

サ ロ ン デ ー タ	サロン名	わくわくサロン知手浜
	開設日	平成10年2月1日
	開催日時	毎月第1・3木曜日 10時~15時
	会場	知手浜区民館
	会員数	22名
	代表者	田谷 千代子
	参加費	500円
	お食事	お弁当、手作りおみそ汁、おやつ

7月21日(木)には15名の仲間が集まり、近況報告や昔話に花を咲かせました。



ココが自慢!

「わくわくサロン知手浜の参加者は、昔からの顔見知りなんだよ。気が知れた昔からの仲間と一緒に和気あいあいと出来ることが自慢だよ。」と、91歳になる同級生コンビ、石井美知さんと田谷貞子さん(右写真)。小学校から一緒の2人は息がぴったり。肩を組んで、とても仲むつまじい様子が伺えました。



きらく くらぶ 始動! 神栖輝楽シニア倶楽部

神栖輝楽シニア倶楽部(以下、輝楽倶楽部)は、平成27年度“輝くための男の講座”受講者で結成された男性会員7名のグループです。平成28年4月にボランティアグループとして発足し、依頼により、高齢者宅での清掃や日曜大工などの活動をしています。また、毎月第2・第4金曜日に、神栖市保健・福祉会館内の交流サロンを利用して定例会を行い、活動の振り返りや予定の確認を行っています。

“男の講座”修了後、受講者同士が「講座で学んだことを活かして、何か社会貢献ができるといいね」と、定期的に交流サロンに集まってボランティアコーディネーターと打ち合わせを重ね、輝楽倶楽部は発足しました。

「自分たちの楽しみや特技を通じてメンバー同士の交流を深め、その延長線上で無理なくできるボランティア活動があれば地域のために活動(貢献)をしていこう」が、メンバー間の共通認識です。

「輝楽倶楽部は会員募集中です!興味のある方は、ぜひボランティアセンターまで。」と代表の川松さんが笑顔で語ってくれました。



活動の様子。高齢者宅にすだれを設置しました

神栖輝楽シニア倶楽部へのお問い合わせは...

神栖市社協ボランティアセンター 神栖本所 電話:0299-93-1029(担当:下田)

赤い羽根共同募金

募金に協力してくださるお店・事業所等を募集します

赤い羽根共同募金運動が今年も10月から全国一斉に始まります。子どもから高齢者まで、多くの市民の皆様が身近な場所で自由に募金できるよう、以下のご協力をしてくださる店舗・事業所様等を募集しています。



①募金箱をお店のレジ近くや窓口付近に設置

お店に設置した募金箱で、市民の皆さんに気軽に募金に参加していただくものです。昨年度は市内233か所の募金箱に総額515,149円が寄せられました。今年度は240か所以上の設置を目標としています。



ご連絡いただければ赤い羽根などの資材、募金箱を持って職員が協力店様を9月中に訪問させていただきます。羽根、風船の補充も本会職員が行いますので、協力店様に費用負担はありません。

②職場での募金活動

職場に設置した募金箱で、社員の方々を中心に募金活動に取り組んでいただきます。

市内500か所以上の事業所様にダイレクトメールによる社協法人会員の加入依頼と合わせ、紙製の募金箱をお送りしました。ご協力いただける事業所様は下記までご連絡下さい。

③行政区での募金活動

行政区単位で募金に取り組んでいただくものです。昨年度は、8行政区のご協力がありました。実施方法等につきましては、社協職員が赤い羽根やチラシを持って、説明にうかがわせていただきます。

募金箱募金、職場や行政区での募金の運動期間
平成28年10月1日～平成28年12月31日

募金の使われ方

募金は、平成29年度の茨城県全体の福祉の充実と、神栖市で実施される下記の福祉事業に活用されます。

■児童・青少年福祉活動

○福祉教育出前講座



学校や企業で、車いす・高齢者疑似等の体験、地域の障害者・高齢者との交流によって、地域の生活者の思いを心と体で感じるための取り組みです。

○高校生の進路アシストカレッジ



介護・看護職、保育士やソーシャルワーカー等の仕事に関心を持つ高校生を対象に、職場を体験し、職業選択の契機となることを目的とする講座です。

■高齢者福祉活動

○一人暮らし高齢者の会食会



ボランティアによるおいしい食事や演芸を楽しみ、参加者同士の親睦を深められる、一人暮らしの高齢者を対象とした会食会です。

お問い合わせ先：茨城県共同募金会神栖市支会(神栖市社協内) 神栖本所 電話 0299-93-0294 担当:名雪
波崎支所 電話 0479-48-0294 担当:篠塚